



## XMLDB勉強会、部会化への展望

XMLDB勉強会

リーダー 加藤哲義  
(株式会社サイバーテック)  
katou@cybertech.co.jp

2007.5.18

### はじめに

XMLDB勉強会が部会化された場合の  
体制やテーマ、活動内容については、まだ  
XMLDB勉強会のなかでオーソライズされ  
てはいないので、本講内容は、講演者の  
展望としてご聴講下さい。

現在「XMLDB部会活動要綱」提出中。

## XMLDB部会の目的

- 1 . XMLDB、XQueryの実践的な技術理解、利用方法、適用領域を会員コラボレーションにより追求。
- 2 . 上記の情報公開、啓蒙を通じてXMLDBの市場形成に貢献。
- 3 . その結果として、XMLの普及促進とXMLDB技術者の拡大に貢献。

## 活動内容

- 1 . XML Query usecaseの翻訳。その副産物としてXQueryにフォーカスした訳語集の作成、整備。さらに周辺技術に関する翻訳活動や支援環境の整備。

## 活動内容

2. XMLDBを実際に使ったプロトシステムの開発とそれを通じてXMLDBの特性や利用方法、心得集、RDBとの比較を公開、提案していく。

最終的にはXMLDBを使うシステムの共通メソロジを提案する。

## 活動内容

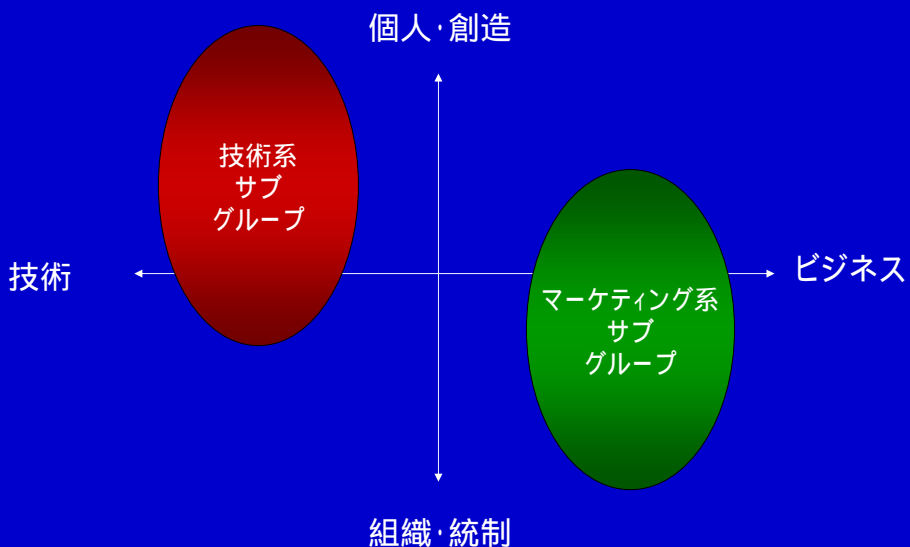
3. XMLDBベンダーや実ユーザーから、事例を収集、研究し、XMLDBならではの利用領域を公開、提案していく。

それらを通じて、XMLDBから想起される新サービスやビジネス・イノベーションを提案する。

## サブグループ

1. エンジニアリング・サブグループとマーケティング・サブグループを編成して、それぞれにテーマ、活動方法、成果物を設定する。
2. エンジニアリング・サブグループは活動内容1、2をマーケティング・サブグループは活動内容3を実行する。

## 位置づけ



## 活動方法

- ・毎月1回のミーティングでのディスカッション、情報交換
- ・随時、Wiki、メーリングリストによるオンラインコラボレーション
- ・XMLコンソーシアム他部会および他団体とのコラボレーション
- ・XMLDBベンダー、XML関連ベンダーとのタイアップイベントの企画実行
- ・Webページ、雑誌記事、出版など外部向けコンテンツの作成
- ・XMLコンソーシアムDay、XMLコンソーシアムWeek、その他イベントでの活動報告

## 成果物目標（現在検討中）

- ・ XML Query usecase日本語版
- ・ 訳語集
- ・ W3Cドキュメントの翻訳
- ・ W3Cドキュメントの整理(W3Cの歩き方)
- ・ 各ドキュメントのアブストラクション
  - ・ W3C逆引きインデックス
    - 「やりたいこと」から参照すべきドキュメントを  
割り出すインデックス
- ・ XQueryのチュートリアル、TIPS集の作成

## 成果物目標（現在検討中）

- ・ 教科書の作成
- ・ 市販書籍の翻訳・出版
- ・ XMLDBを利用したサンプルアプリ
- ・ XMLDB利用の心得集
- ・ XMLDBユーザインタビュー集
- ・ 業界、業種別XMLDB適用モデル集

## 活動期間

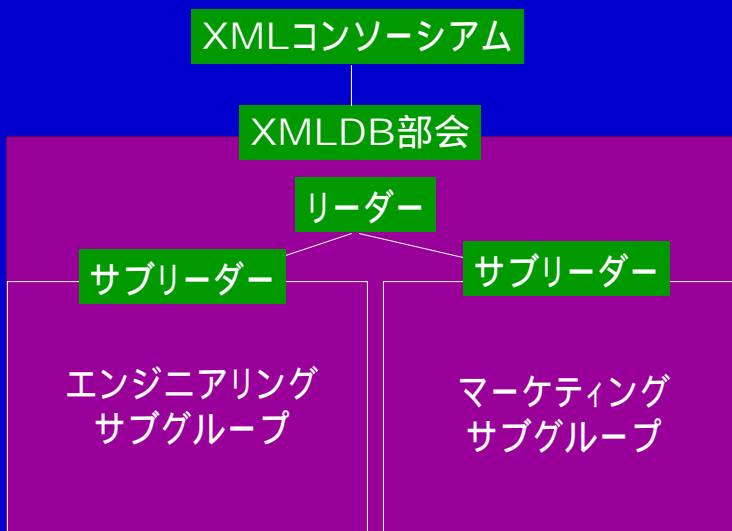
2007年6月 ~ 2008年5月

## 会員メリット

1. XMLDB、XQueryの技術習得、スキル・アップ
2. XMLDBの活用方法や適用分野に関するノウハウ、提案力の習得
3. 参加メンバーやベンダーとの情報交換、人的ネットワークの確立

## 体制

リーダー等は2007年度最初の部会にて選任する



マーケティング系サブグループ

ユーザ事例

帰納

XMLDBの  
適用領域

XML自体の  
適用領域

演繹

XQuery, XMLDBの特徴

技術系サブグループ

XMLDB市場のChasm越えをよろしくお願いします。

XMLDBのChasm越え

ベンダー

ユーザー

XMLコンソーシアム

完